

令和4年度学校評価報告書（定時制）

令和5年3月8日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長 荻 島 勝 幸

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| 1 個性・能力を伸長させる指導の充実に努め、主体的に学ぶ姿勢と基礎基本の確実な定着を目指す
学習指導の充実
2 基本的な生活習慣を確立し、自らを律する態度や他を思いやる心を育む指導の充実
3 進路意識の高揚と将来の望ましい自己実現を可能とする能力の伸張
4 心身ともに健康で充実した学校生活を目指す健康・安全指導の充実強化
5 ワークライフバランスを踏まえた教育活動の推進及び明るく事故のない職場環境の構築 |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	ア生徒の自発的、意欲的な学習態度の育成を図り、学力向上に努める。 イ「主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組み、生徒に成就感を持たせる指導に努める。 ウ「総合的な学習の時間」「探究的な探究の時間」により、体験を通じた実践力の育成に努め、ポートフォリオ等の作成を推進する。 ○ ア、イについてほぼ達成した。ウについては、具体的な行事等が増えつつあるが、4年間（3年間）を見通したキャリア教育計画がまだ不十分である。観点別評価の研修が進んでいる。	適切な評価をしている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の時間の充実により、さらに実践力の育成を図っていく。 ・新学習指導要領の観点別評価の理解を深め、授業と評価の一体化を目指す。 	
生徒指導	ア 学校・家庭・職場間の連携を密にし、基本的な生活習慣を確立させ、主体的に生きる力を育成する。 イ 生徒理解を深め、教師と生徒との信頼関係を確立し、適切な個別指導に努める。 ウ 他を思いやる心と自らの心身をたくましく鍛える心の育成に努める。 ○ 重点目標のア、イ、ウについてほぼ達成しており、特に生徒指導での教育相談活動において欠席生徒の個人票を作成するなど新しい取組が見られた。	適切な評価をしている。 先生が一人一人の生徒の状況を把握すべく努力をしている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部及び教育支援委員会が連携して、教育相談のあり方と体制を整備していく。 ・生徒指導の基盤となるコミュニケーション能力の育成をさらに図る。 	
健康安全指導	ア 生命の尊さを基本に据え、健康安全指導の徹底を図る。 イ 体育的活動への積極的な参加を通し、体力向上を図る態度の育成に努める。 ウ 日常的に身体状況を把握させ、事故の健康管理の習慣を育成する。 エ 交通安全の啓発・事故防止の徹底に努める。 ○ 重点目標のイ、ウ、エについては概ね達成しており、アについては、感染者を出さず、感染症対策を十二分に行い達成できた。	適切な評価をしている。 特にコロナ禍の感染対策ができた。 生徒の安全に目を配ることができた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をさらに確かなものとして、充実した健康安全指導に努める。 ・生命の尊さを実感できるような行事、講演会のさらなる充実を図る。 	
進路指導	ア 社会的、職業的自立に向けて、各学年のキャリア教育を系統的・計画的に推進する。 イ インターンシップ等体験学習の機会の提供と参加の推進を図り、進路意識の向上を目指す。 ウ Fの時間を通じて、4年生へのキャリア教育を行	概ね適切な評価をしている。 多様な進路指導がされている。

	<p>う。</p> <p>エ 外部機関等との連携を密にし、情報収集・情報発信を積極的に行い、教育活動に生かす。</p> <p>○ 重点目標のア、エについては概ね達成しており、イについては、指導の過程に課題が残り、ウについては、外部講師の招聘により、内容のある行事に仕上げ、成果を上げ達成できた。</p>	
改善方策	<p>・4(3)年間を見通したキャリア計画の充実と継続性と継承性のある計画の実行を図る。</p> <p>・自己理解とともに、インターンシップとアルバイト先と連動した職業観の育成を図る。</p>	
組織運営	<p>校務分掌や学年団、委員会等の校内組織を効果的に運営する。</p>	<p>概ね適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>・適材を適所に配置し兼務可能な校内業務を検討して、機能性の高い校内組織を作り出す。</p>	
研修	<p>ア 授業や指定事業等及び健康安全指導の改善並びに新しい事象や課題等への対応に努める。</p> <p>イ 校内の研修実施体制を整備する。</p> <p>○ 重点目標のアについては概ね達成できた。イについても、教務、教育相談中心に研修を行った。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>多岐にわたる課題に適切に対応できた。</p>
改善方策	<p>・具体的な研修計画を早期に画定して、実りある研修を実施する。</p> <p>・個人研修だけでなくチームとして目指せる目標値を明確に定められるよう議論を深める。</p>	
保護者地域との連携	<p>ア PTAや関係団体との連携の充実に努める。</p> <p>イ 地域の自然や文化財、専門家などの教育資源を活用する。</p> <p>○ 重点目標のア、イともに概ね達成できた。アについては、保護者への説明責任を果たす必要がある。</p>	<p>適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>・コロナ禍での保護者との新たな連携の形を模索する。</p> <p>・これからも実効性のある連携に努め、教育資源の活用を図る。</p>	
施設設備	<p>施設設備の安全・維持のために取組に努める。</p> <p>○ 重点目標は、概ね達成できた。事務室がリーダーシップをとりながら取組を進めている。</p>	<p>適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>・設備改善等に必要な情報を事務室に提供して実効性ある連携を深め、安全・維持を図る。</p> <p>・コロナ禍の先を見据えて、学習における未来性のある施設設備の変革を図る。</p>	
その他	<p>ア 学校の状況を踏まえた重点目標等の設定が適切である。</p> <p>イ 教育活動に関する生徒、保護者の満足度の把握に努める。</p> <p>ウ 在校等時間の縮減を図り、自身の心身の健康に気を配り、ガイドラインやルールを遵守する。</p> <p>○ これらの項目について、学校の状況を踏まえて目標設定し、概ね目標を達成できた。</p>	<p>適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>今後とも重点目標の設定の適切さを議論し、アンケートを通じて保護者の満足度を把握し、適切な勤務時間を管理しながら法令及び規則を遵守し、教職員の健康を守る。</p>	
公表方法	<p>・自己評価の結果を全教職員及び学校評議員、PTA役員に公表するとともに、学校HPにも掲載した。</p>	